

主 直 日 誌

2月15日（木） 天候 c

【実習内容】

漁場調査見張り、課業（ビデオ、船体各部名所テスト）、活餌管理

【感想】

本日は調査日7日目で、昨日とは打って変わり、風は若干ありましたが、とても穏やかな海況でした。穏やか過ぎて、カツオの気配を感じられない中、私は1～2マイルの所に12,3羽ほどのカツオ鳥がいるのを見つけることが出来ました。カツオ鳥を見つけられたことがとてもうれしく、釣る気は満々でした。しかし、チンカツ（1kg未満のカツオ）の小さな群れだとわかり、操業をやらずに、次の群れを探し始めました。次こそは、大ナブラを見つけるぞという意気込みだけで一日頑張りましたが、一度もカツオ見ることが出来なかったです。

活餌管理では、今日の活餌の死滅量は結構ありました。3つの魚倉があり、そのうち1つの魚倉（2S）だけ活餌が沢山死んでしまい、なぜこんなにも多くのイワシが死んでしまうのか不思議に思いました。原因は船体の動揺、それと

も管理の状況なのか、まだまだ、勉強不足の私にはわかりません。この実習中に原因究明をしたいと思います。

私はあと1日しかカツオを釣る機会がありません。しかし、まだカツオが釣れないと決まったわけではないので、その機会で大ナブラを見つけられることを信じ、絶対に釣りたいと思います。また、見張りで鳥群れを見つけられるよう頑張ります。



死んでしまった餌のイワシを計量しています。